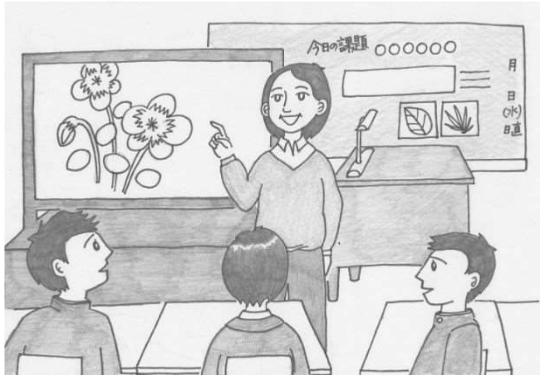
資　料

平成 31 年度（令和元年度）
川崎市立小学校
学習状況調査報告
（概要）



◎ 調査の概要

１　調査の目的

全市的な規模で児童の学習状況を調査することにより、学習指導上の問題点及び改善点を明らかにする。その結果を、各学校においては、今後の学習指導法の改善や教育課程編成の工夫等、児童の基礎学力の向上に役立てる。

２　調査の内容

〇国語・算数

調査の目的に基づき、学習指導要領の定める第４学年までの内容のうち、ペーパーテストで調査を行うことが適当な項目について調査を実施した。

〇学習意識調査（生活や学習についてのアンケート）

児童の学習や生活に対する意識等について明らかにするために、児童を対象とする意識調査を実施した。

３　調査の対象　　市内全市立小学校の第５学年の児童

４　調査実施日及び調査対象教科・人数

（1）調査実施日　　平成 31 年４月 23 日（火）

（2）調査対象教科・人数　　小学校第５学年

国語	11,772 人
算数	11,772 人
生活や学習についてのアンケート	11,807 人

領域ごとの正答率

話すこと・聞くこと　80.6%
書くこと　63.1%
読むこと　73.7%
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項　75.7%

◎ 国語調査結果の概要

1　出題・観点等一覧

通し番号	大問番号	中問番号	小問番号	解答形式			正答	観点				問題の内容	領域	出題のねらい	学習指導要領	正答率
				選択	短答	記述	選択式→番号　記述式→言葉	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能					
1	1	(1)		☆			2	◎				話の内容を聞き取る	話すこと・聞くこと	話の中心に気をつけて、発表を聞き取ることができる。	A(1)エ	87.1
2		(2)		☆			3	◎						話の中心に気をつけて、発表を聞き取ることができる。	A(1)エ	91.0
3		(3)		☆			1	◎						話の中心に気をつけて聞き、話し方の工夫を聞き取ることができる。	A(1)エ	68.1
4		(4)		☆			2	◎						話の中心に気をつけて聞き、話し方の工夫を聞き取ることができる。	A(1)エ	76.3
5	2	①			☆		農業				◎	漢字を書く	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	第三学年配当漢字を書くことができる。	伝国(1)ウ(イ)	52.5
6		②			☆		昔				◎	漢字を書く		第三学年配当漢字を書くことができる。	伝国(1)ウ(イ)	89.6
7		③			☆		きかい				◎	漢字を読む		第四学年配当漢字を読むことができる。	伝国(1)ウ(イ)	97.3
8		④			☆		はじ				◎	漢字を読む		第四学年配当漢字を読むことができる。	伝国(1)ウ(イ)	97.2
9		⑤			☆		わら　※「よろこ」も正答扱い				◎	漢字を読む		第四学年配当漢字を読むことができる。	伝国(1)ウ(イ)	89.6
10		⑥			☆		幸せ				◎	漢字を書く		第三学年配当漢字を書くことができる。	伝国(1)ウ(イ)	53.1
11		⑦			☆		予定				◎	漢字を書く		第三学年配当漢字を書くことができる。	伝国(1)ウ(イ)	78.3
12		⑧			☆		かんさつ				◎	漢字を読む		第四学年配当漢字を読むことができる。	伝国(1)ウ(イ)	95.8
13	3	(1)		☆			3				◎	言葉の学習	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	接続語を理解している。	伝国(1)イ(ク)	79.3
14		(2)		☆			3				◎			主語について理解している。	伝国(1)イ(キ)	44.5
15		(3)			☆		さむい				◎			国語辞典を利用して調べることができる。	伝国(1)イ(カ)	70.3
16		(4)	①		☆		うさぎ				◎			ローマ字で書かれた身近な単語を読むことができる。	伝国(1)ウ(ア)	73.5
17			②	☆			4				◎			身近な単語をローマ字で書くことができる。	伝国(1)ウ(ア)	51.0
18		(5)		☆			2				◎			ことわざを適切に使うことができる。	伝国(1)ア(イ)	82.2
19		(6)		☆			1				◎			伝えたい気持ちを適切に言葉で表すことができる。	伝国(1)イ(ア)	81.3
20	4	(1)		☆			3			◎		物語の内容を読み取る	読むこと	叙述をもとに登場人物の様子や気持ちを読み取り、音読することができる。	C(1)ア	60.0
21		(2)		☆			1			◎				場面の移り変わりに注意して、動作の主体をとらえることができる。	C(1)ウ	83.0
22		(3)		☆			4			◎				叙述をもとに登場人物の様子や気持ちを読み取ることができる。	C(1)ウ	94.4
23		(4)		☆			1			◎				物語を読んで、感想を述べ合うことができる。	C(1)ウ	88.4
24		(5)		☆			3			◎				叙述をもとに登場人物の様子や気持ちを読み取ることができる。	C(1)ウ	86.8
25	5	(1)		☆			3			◎		説明文の内容を読み取る	読むこと	文と文の意味のつながりを理解して文章を読むことができる。	C(1)イ	71.1
26		(2)		☆			2			◎				指示語の内容をとらえて文章を読むことができる。	C(1)イ	67.5
27		(3)		☆			3			◎				段落相互の関係に注意して文章を読むことができる。	C(1)イ	49.5
28		(4)	①		☆		えさのとり方			◎				文章の要点や細かい点に注意しながら読むことができる。	C(1)イ	70.7
29			②		☆		見る			◎				中心となる語や文をとらえて文章を読むことができる。	C(1)イ	65.7
30			③			☆	(何回も)何回もやってみる			◎				文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章を要約することができる。	C(1)エ	73.1
31	6	(1)		☆			4		◎			文章を推敲する	書くこと	文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりできる。	B(1)オ	88.7
32		(2)	イ	☆			1		◎			手紙の後付けを書く		手紙の後付けを書くことができる。	B(2)エ	45.5
33			ウ	☆			3		◎					手紙の後付けを書くことができる。	B(2)エ	36.6
34	7	1		☆			A～Eのどれかを選択している		◎			作文	書くこと	関心のあることなどから書くことを決めることができる。	B(1)ア	86.1
35		2				☆	・A～Eの取り組みからつながる内容を書いている。 ・その取り組みをするとごみを減らせる理由がわかるように、自分の考えを具体的に書いている。 ・30字以上、50字以内で書いている。		◎					書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くことができる。	B(1)ウ	58.6

※解答形式について…問題が「選択肢問題」、「記述問題」のどちらであるかを☆で表しています。

※いずれも3・4年

２　主な成果（◇）と課題（◆）

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

◇適切なことわざや表現を使って表すことは概ねできている。【３(5)(6)】

◇３(5)(6)（報告書Ｐ12　問題Ｐ４参照）

(5) 次の会話がうまくつながるようにするには、□にどんな言葉を入れたらよいですか。あとから**一つ**選んで、その**番号を書きましょう。**

> 小野（おの）「きのう、料理を失敗してこがしてしまったよ。」
> 谷本（たにもと）「料理上手な小野さんでもそういうことがあるのね。□というものね。」

1　泣きつらにはち
②　さるも木から落ちる
3　ねこにこばん
4　立つ鳥あとをにごさず

正答　２　正答率　82.2％

(6) 次の文章で、うまく気持ちが伝わるようにするには、□にどんな言葉を入れたらよいですか。あとから**一つ**選んで、その**番号を書きましょう。**

> 来週の運動会で、わたしの弟はダンスに参加します。これまでたくさん練習してきたので、当日は□楽しんでほしいと思います。

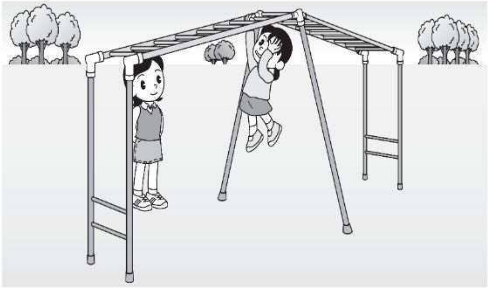
①　かたの力をぬいて
2　あっけにとられて
3　冷（ひ）やあせをかいて
4　頭をかかえて

正答　１　正答率　81.3％

◇叙述をもとに登場人物の様子や気持ちを読み取ることは概ねできている。【４(5)】

◇４(5)（報告書Ｐ15　問題Ｐ５～Ｐ６参照）

小学五年生の優由は友だちとうまくいかず、しずんだ気持ちで放課後の校庭にきた。校庭では、下級生の桜乃ちゃんが、うんてい（ぶらさがってわたる遊具）の練習をしていた。



「よし、もう一回」

桜乃ちゃんは、一番端のバーに手を伸ばす。

桜乃ちゃんは何度でも挑戦していく。

その姿は、気持ちのよいものに感じた。

桜乃ちゃんは、がんばって続けていれば必ずできるようになると、自分を信じているのだ。とちゅうで落ちてしまったことなんて、ちっともくよくよしていない。

①「よく飽きないね。できないのに」

「ちがうよ。できないままでやめたら、できないことになっちゃうけど、続けていたら、次はできるようになるかもしれない」

当たり前のことだけど、がんばり屋の桜乃ちゃんの口から出てくると、②そのとおりだなと思えた。

（今のあたしにとって、あきらめないで続けていけることってなんだろう……）

優由は、確かめるようにつぶやいた。

「あたし、楽しいことが、好きなんだ」

「うん、あたしも、楽しいこと、好き」

桜乃ちゃんはぶらんぶらんしながら、苦しそうに答えた。がんばり屋なだけじゃなくて、負けず嫌いな子なのかもしれない。きっと自分で決めたことを曲げたくないのだ。

③「体を振りすぎないほうがいいよ」

優由の言葉に注意をそがれ、桜乃ちゃんは手を離した。

「なんで？」

「見てて思ったんだけど、無駄な動きを減らせば、とちゅうで疲れないんじゃないかなって」

「やってみる。できるかな」

桜乃ちゃんは、体を前後に振らずに、手を伸ばす力だけでバーを進むようにしていった。パッパッパッとすばやく進んでいき、半分過ぎたところで手がすべって落ちた。

「おー、けっこう進んだ」

桜乃ちゃんは手をこすり合わせながら、うれしそう。無駄なアドバイスではなかったようで、優由もうれしくなった。

（梨屋アリエ『雲のはしご』による）

(5) この場面での優由の気持ちのうつりかわりを次のようにまとめました。次の［　］にあてはまる最も ふさわしい言葉をあとから**一つ**選んで、その**番号を書きましょう**。

しずんだ気持ち。
→ 変化のきっかけ
①桜乃ちゃんのあきらめない姿を見たこと。
②［　　　　］
前向きな気持ち。

1　桜乃ちゃんがうんていから落ちたこと。
2　桜乃ちゃんとうんていを競い合ったこと。
③　アドバイスが桜乃ちゃんの役にたったこと。
4　うんていの楽しさを思い出したこと。

正答　3

正答率　86.8%

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

◆第三学年配当漢字を書くことには課題がある。【2 ①②⑥⑦】

◆2 ①②⑥⑦（報告書P10　問題P2参照）

2

次の文章中の……線①②⑥⑦のひらがなを**漢字**で、――線③④⑤⑧の漢字の読み方を**ひらがな**で、それぞれていねいに書きましょう。⑥は送りがなも書きましょう。

ぼくは、先日①のうぎょうを営（いとな）んでいる祖父母（そふぼ）の家に行って、田植えの手伝いをしてきました。

今は②むかしとちがって、③機械を使った田植えが主流ですが、田んぼのすみなどは、人の手で植えるので、ぼくが植えました。④初めての体験だったので、あまりうまくできませんでしたが、祖父母が嬉しそうに⑤笑っていたので、ぼくも⑥しあわせな気持ちになりました。

夏休みにも祖父母の家に行く⑦よていなので、いねの成長を⑧観察してきたいと思います。

【書き】

正答	正答率
①農業	52.5%
②昔	89.6%
⑥幸せ	53.1%
⑦予定	78.3%

◆目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くことには課題がある。【7 2】

◆7 2（報告書P20　問題P10参照）

書くこと

7

井上さんは、家庭から出るごみの量を減らすための取り組みについて調べ、次のように〈ノート〉にまとめました。この〈ノート〉を生かして、「ごみを減らそう」とよびかける文章を書きましょう。

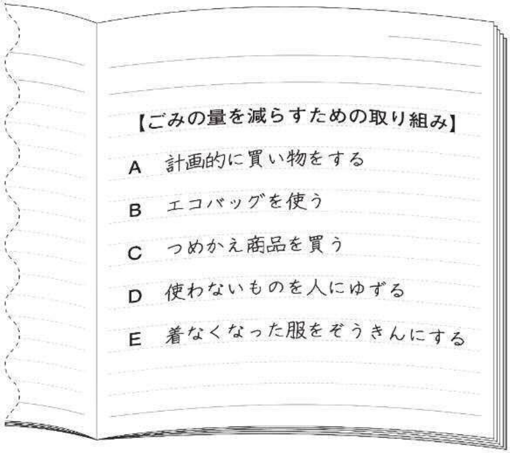
〈注意する点〉

① **1**は、〈ノート〉のA～Eの中から、行うとよいと思う取り組みを一つ選び、記号（A～E）を**1**の□に書きましょう。

② **2**は、書き出しの「そうすることで、」に続けて、その取り組みをするとごみを減らせる**理由**がわかるように、具体的に考えて書きましょう。文は二つ以上になってもかまいません。文が二つ以上になるときには、つなぎ言葉にもよく注意してください。

③ **2**は、**三十字以上、五十字以内**で、**3**につながるように書きましょう。（書き出しの言葉や、空らん、、や。も一字と数えます。）

〈ノート〉



1	みなさん、□という取り組みをしましょう。
2	そうすることで、 **答えは、すべて解答用紙に書きましょう。**
3	これで、ごみの量を減らせます。

正答率　58.6％

正答例

・（そうすることで）食べられる量を考えて買い物をするようになるので、食べ残しをすてることをふせげます。【Aの取組を選んだ場合】

・（そうすることで）シャンプーの容器などをくり返し使え、ごみにしなくてすみます。【Cの取組を選んだ場合】

正答条件を満たしていない割合

（１）その取組がごみを減らせる理由として具体的な内容でない。　10.3％

（２）自分の考えを書いていない。　3.3％

（３）「そうすることで」にスムーズにつながるように書いていない。　2.7％

（４）三十字以上、五十字以内で書いていない。　4.2％

◆ 5 (3)（報告書Ｐ17　問題Ｐ７参照）

○出題のねらい

段落相互の関係に注意して文章を読むことができる。

5 次の文章は、「こくまるがらす」という小さなからすについて、かんさつしてわかったことを説明している文章です。これを読んで、下の問題に答えましょう。

こくまるがらすは、黒くてゆれうごくものをもっている相手を見ると、はげしくこうげきします。人間にでも、どうぶつにでも、むかっていきます。

□、黒くてゆれうごくものは、てきにつかまえられた自分たちのなかまかもしれないからです。

こうげきをくりかえすうちに、こくまるがらすは、相手をしっかりおぼえてしまいます。①それからは、相手が黒くてゆれうごくものをもっていなくても、ギャーギャーわめいたりこうげきしたりするようになります。【１】

それに、こくまるがらすの子どもたちが、このようなおとなのやり方を見て、いっしょうけんめいに勉強することも分かりました。おとながどんな相手にむかってわめいたりこうげきしたりするのかを、勉強しておぼえるのです。そうして、「ああ、あれがてきなのだな。」と、見分けるようになるのです。【２】

はじめは、子どもたちは、どんな相手がてきなのか、まったく知りません。犬やねこが近づいても、にげようともしません。【３】

こくまるがらすの子どもたちは、このほかにもいろいろな勉強をします。【４】

こくまるがらす

(3) 次の一文は、文章中からぬき出したものです。この一文が入る場所として最もふさわしいところを、文章中の【１】～【４】から**一つ**選んで、その**番号を書きましょう**。

> だから、もしこういう大切な勉強をしなかったら、たちまち、犬やねこのえじきになってしまうでしょう。

正答　３　正答率　49.5％

◇3 (1)（報告書P12　問題P２参照）

○出題のねらい　接続語について理解している。

3 次の問題に答えましょう。

(1) 西田さんは、自分で書いた文章を読み直したとき、――線の文が長いので、あとのように**二つの文**に分けて書き直すことにしました。このとき□にはどんな言葉を入れたらよいですか。あとから**一つ**選んで、その**番号を書きましょう。**

> 来週、友だちがわたしの家に遊びにくることになりました。二年前の春に友だちが遠くへ引っこしてから会っていなかったので、今はすこしきんちょうしていますが、ひさしぶりにたくさん話ができるので楽しみです。

> 二年前の春に友だちが遠くへ引っこしてから会っていなかったので、今はすこしきんちょうしています。□、ひさしぶりにたくさん話ができるので楽しみです。

1 そして
2 また
3 でも
4 つまり

正答　３　　正答率　79.3％

【参考】平成31年度 全国学力・学習状況調査（小学校第六学年）

四 高橋さんは、**【報告する文章】**を書き終え、読み返しています。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

(2) 高橋さんは、読み手に伝わりやすくするために、**【報告する文章】**の□の文を二つの文に分けて書き直すことにしました。文と文とをつなぐ言葉には「**そこで**」を使います。書き直した一文目の終わりの五文字と、二文目の「そこで、」に続く五文字を書きましょう。なお、読点（、）も字数にふくみます。

> 公衆電話を必要なときに使うことができるようにするためには、どのような場所に設置されているのかを前もって知っておくことが大切だと思ったので、わたしは、公衆電話の設置場所を確かめてみることにしました。

□□□□□。そこで、□□□□□

正答例
思いました（。そこで、）わたしは、
と思います（。そこで、）わたしは、

川崎
46.1%
全国
47.8%

◎算数調査結果の概要

1　出題・観点等一覧

観点ごとの正答率

数学的な考え方　53.5%(昨年度 49.0%)
数量や図形についての技能　69.7%(昨年度 69.1%)
数量や図形についての知識・理解　60.8%(昨年度 58.6%)

領域ごとの正答率

数と計算	69.8%
量と測定	50.7%
図形	49.2%
数量関係	63.2%

通し番号	大問番号	中問番号	小問番号	解答形式			正答	観点			問題の内容	領域	出題のねらい	学習指導要領	正答率
				選択	短答	記述	選択式→番号　単答式→言葉　記述式→文章	数学的な考え方	技能	知識・理解					
1	1	(1)	㋐		☆		750			◎	小数のたし算・ひき算	A数と計算	小数のたし算の仕組みを，整数のたし算をもとにして考えることができる	4年A(5)ア	73.6
2			㋑		☆		32			◎			小数のたし算の仕組みを，整数のたし算をもとにして考えることができる		91.0
3			㋒		☆		782			◎			小数のたし算の仕組みを，整数のたし算をもとにして考えることができる		73.8
4		(2)	㋓		☆		0.26		○	◎	小数のしくみ		数直線上の小数を読み取ることができる		78.7
5			㋔		☆		0.306		○	◎			数直線上の小数を読み取ることができる		63.4
6	2	(1)			☆		5.94		◎		小数のたし算・ひき算	A数と計算	小数第二位までの加法ができる	4年A(5)イ	80.8
7		(2)			☆		29.56		◎				小数第二位までの減法ができる		60.5
8		(3)			☆		8.4		◎		小数と整数のかけ算・わり算		小数×(1けた)の乗法ができる	4年A(5)ウ	87.5
9		(4)			☆		4.75		◎				(整数)÷(整数)のわり進む除法ができる		69.1
10		(5)			☆		14		◎		式と計算	D数量関係	四則混合計算ができる	4年D(2)ア	83.4
11		(6)			☆		$6\frac{2}{5}$ または $\frac{32}{5}$ または 6.4		◎		分数のたし算・ひき算	A数と計算	帯分数を含む同分母分数の加法ができる	4年A(6)イ	72.9
12		(7)			☆		$\frac{3}{7}$		◎				帯分数を含む同分母分数の減法ができる		69.5
13	3				☆		3(本できて，)2.5(cmあまる。)		◎	○	小数と整数のかけ算・わり算	A数と計算	(小数)÷(1けた)の余りのある除法の適用問題ができる	4年A(5)ウ	56.2
14	4	(1)			☆		19			◎	分数の大きさ	A数と計算	分数が単位分数のいくつ分かで表せることがわかる	4年(6)	72.8
15		(2)			☆		$1\frac{1}{4}$ または $\frac{5}{4}$			◎			テープ図に示された分数を読み取ることができる		58.5
16		(3)			☆		$2\frac{2}{5}$ (→) $\frac{11}{5}$ (→) 2 (→) $1\frac{4}{5}$ (→) $\frac{8}{5}$　(完答)			◎			分数の大小がわかり，仮分数・帯分数・整数を大小順に並べることができる		68.6
17	5	(1)		☆			ウ，オ，イ(完答)	◎	○	○	かけ算・わり算	A数と計算	倍とわり算の問題を図に表すことができる	4年A(3)	50.4
18		(2)			☆		1200÷4　または　□×4＝1200		◎				図をもとに正しく式を立てることができる		70.0
19	6				☆		100		○	◎	式と計算	D数量関係	計算のきまりを理解している	4年D(3)ア	42.6
20	7				☆		①500＋200＋300 ②1000(完答　正答は一例)	○	◎	○	がい数	A数と計算	概数の表し方を理解し，切り上げの計算をすることができる	4年A(2)イ	58.9
21	8	(1)		☆			3			◎	角	B量と測定	180°よりも大きい角のおよその大きさを捉えることができる	4年B(2)ア，イ	76.0
22		(2)			☆		210(度)	○	◎				180°よりも大きい角を分度器を用いて求めることができる		58.2
23	9	(1)		☆			3			◎	面積	B量と測定	面積の大きさについての感覚を身につけている	4年B(1)ア	21.4
24		(2)			☆		4×5(＝20)　または　5×4(＝20)		○	◎			長方形の面積を求めることができる	4年B(1)ア，イ	64.0
25	10			☆			1	◎		○	垂直・平行と四角形	C図形	平行四辺形の作図の仕方を性質をもとに考えることができる	4年C(1)イ	57.8
26	11	(1)		☆			ア，イ，ウ，オ(順不同，完答)			◎	垂直・平行と四角形	C図形	向かい合った角の大きさの性質がわかる	4年C(1)イ	71.1
27		(2)		☆			イ，ウ(順不同，完答)	○		◎			四角形の対角線の性質がわかる		41.2
28	12	(1)		☆			2			◎	立体	C図形	立方体の展開図がわかる	4年C(2)ア，イ	63.3
29		(2)			☆		面㋔，面㋕　(順不同，完答)			◎			立方体の辺に垂直な面がわかる		12.8
30	13					☆	左にある三角形を切って右に動かして，長方形と考えると，面積を求めることができます。	◎	○	○	面積	B量と測定	複合図形の面積の求め方を考え，説明することができる	4年B(1)ア，イ	34.0
31	14	(1)			☆		24(こ)	◎	○	○	変わり方	D数量関係	数量の関係を読み，調べることができる	4年D(2)ウ	82.9
32		(2)			☆		○×4(＝△)	◎	○	○			ともなって変わる二つの数量の関係を式に表すことができる		60.5
33	15	(1)				☆	8は，2月に貸し出された「図かん」のさっ数を表しています。	◎		○	表	D数量関係	2次元表を理解し，値を説明することができる	4年D(4)ア	54.7
34		(2)				☆	(説明)9は，11月に本を借りていなくて，12月に本を借りた人数です。(同意文可)(記号)ウ　(完答)	◎	○	○			示された式の中の数の意味を，表と関連付けながら正しく解釈し，それを記述することができる		34.4

※解答形式について…問題が「選択肢問題」、「短答問題」、「記述問題」のいずれであるかを☆で表しています。

２　主な成果（◇）と課題（◆）

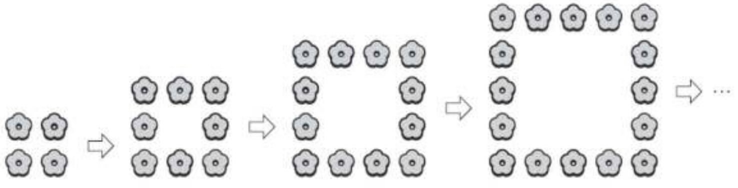
数量関係

◇ともなって変わる２数の関係を捉え、調べることについては概ね理解できている。【14（１）】

◇14（１）（報告書Ｐ．４４　　問題Ｐ．１５参照）

14 下の図のように，おはじきを正方形にならべていきます。正方形の大きさが1番め，2番め，3番め，…と大きくなっていくと，おはじきの数は4こ，8こ，12こ，…とふえていきます。

このときの正方形の大きさとおはじきの数の関係について，表をつくって調べていきます。



正方形の大きさ　○(番め)	1	2	3	4	5	6	
おはじきの数　△(こ)	4						

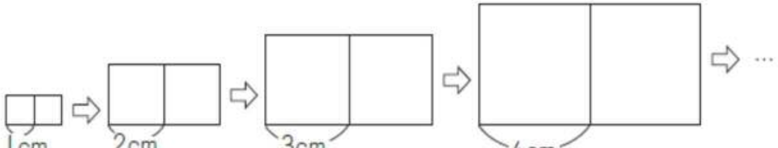
(1) 正方形の大きさが6番めのときのおはじきの数を書きましょう。

（１）　正答　24 個　　　正答率　82.9%

参考　平成３０年度

14 下の図は正方形を2こ組み合わせて作った形です。正方形の1辺の長さを1cm，2cm，3cm，…と変えていくと周りの長さは6cm，12cm，18cm，…となります。

このときの正方形の1辺の長さと下の図の周りの長さの関係について，表をつくって調べていきます。



正方形の1辺の長さ　○(cm)	1	2	3	4	5	6	
周りの長さ　△(cm)		12					

(1) 正方形の1辺の長さが6cmのときの周りの長さを書きましょう。

（１）正答　36 ㎝　　　正答率　68.0%

数と計算

◆問題場面を正しく捉え、（小数）÷（１けた）の余りのある除法の適用問題を解くことについては課題がある。【３】

◆３　（報告書Ｐ．３０　問題Ｐ．３参照）

> **3**　17.5 cmのテープがあります。このテープをはじから５cmずつ切り分けていきます。５cmのテープは何本できて，何cmあまりますか。

正答　３本できて、2.5㎝あまる。
正答率　56.2%

参考　平成２５年度　川崎市立小学校　学習状況調査

> ２　25.4㎝のリボンがあります。このリボンをはじから３㎝ずつ切っていくと、３㎝のリボンは何本とれて何㎝あまりますか。

正答　８本とれて、1.4㎝あまる。
正答率　41.0%

２（４）（報告書Ｐ．２８～Ｐ．２９　問題Ｐ．２参照）

> （４）１９÷４
> わりきれるまで計算しましょう。

正答　4.75　正答率　69.1%

量と測定

◆身近なものの面積の大きさについて、量感覚を身に付けていることについては課題がある。【9（１）】

◆9（１）（報告書Ｐ.３８　　問題Ｐ.８参照）

9 次の問題に答えましょう。

(1) はがきの面積は約何cm^{2}ですか。答えは**1**～**4**から**1つ選んで**，その番号を書きましょう。

1 約　15cm^2
2 約　50cm^2
3 約　150cm^2
4 約　550cm^2

正答　３　正答率　21.4%

参考　平成３０年度　川崎市立小学校学習状況調査

9 次の問題に答えましょう。

(1) はがきの面積は約何cm^{2}ですか。答えは**1**～**4**から**1つ選んで**，その番号を書きましょう。

1 約　50cm^2
2 約　150cm^2
3 約　550cm^2
4 約　1500cm^2

正答　２　正答率　38.1%

3　授業改善に向けて注目した問題

5◆問題場面の数量関係を正しく捉え、数直線に表すことには課題がある。（報告書 P.３３～P.３４　問題 P.４参照）

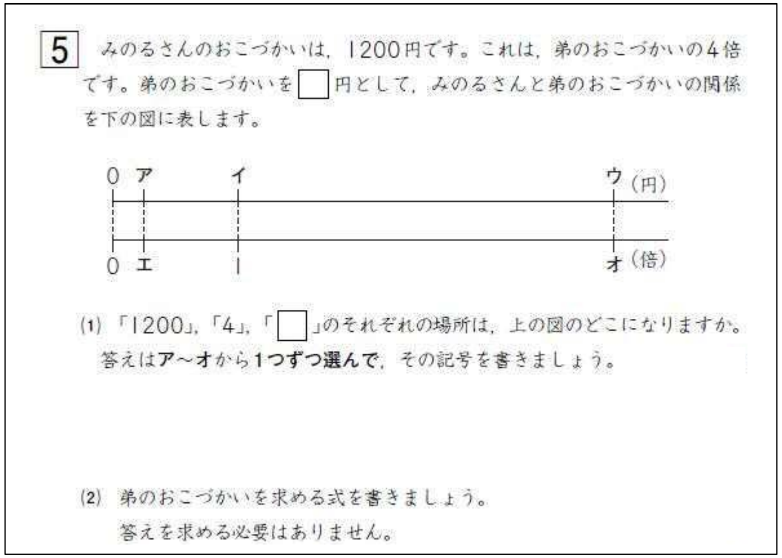
〇出題のねらい

　具体的な事象の問題を解決するため、数量の関係を読み取り、数直線に適切な数値を入れ問題を解決することができる。

〇問題の概要

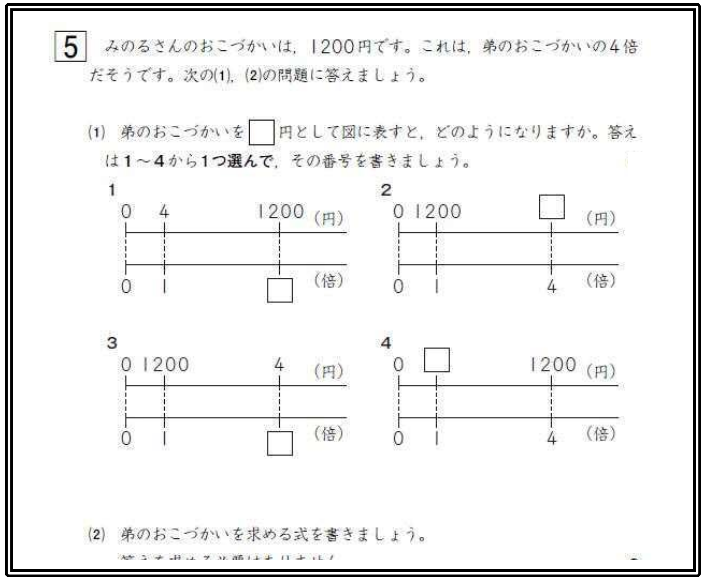
　兄弟のお小遣いの「割合」を基にした問題で、数直線に「比べる量」、「もとにする量」になる適切な数値を入れ、そこから立式し求める問題を出題した。

参考　平成３０年度　川崎市立小学校　学習状況調査


5　みのるさんのおこづかいは，1200円です。これは，弟のおこづかいの4倍です。弟のおこづかいを□円として，みのるさんと弟のおこづかいの関係を下の図に表します。

(1)「1200」,「4」,「□」のそれぞれの場所は，上の図のどこになりますか。答えはア～オから1つずつ選んで，その記号を書きましょう。

(2) 弟のおこづかいを求める式を書きましょう。答えを求める必要はありません。


5　みのるさんのおこづかいは，1200円です。これは，弟のおこづかいの4倍だそうです。次の(1)，(2)の問題に答えましょう。

(1) 弟のおこづかいを□円として図に表すと，どのようになりますか。答えは1～4から1つ選んで，その番号を書きましょう。

(2) 弟のおこづかいを求める式を書きましょう。

正答　(1)1200 にウ，４にオ，□にイ

　　　(2)1200÷４=300（□×４＝1200，1200÷□＝４）

正答率　(1)　50.4%　　(2)　70.0%

正答　(1)　４

　　　(2)　1200÷４（＝300）（□×４＝1200）

正答率　(1)　67.6%　　(2)70.2%

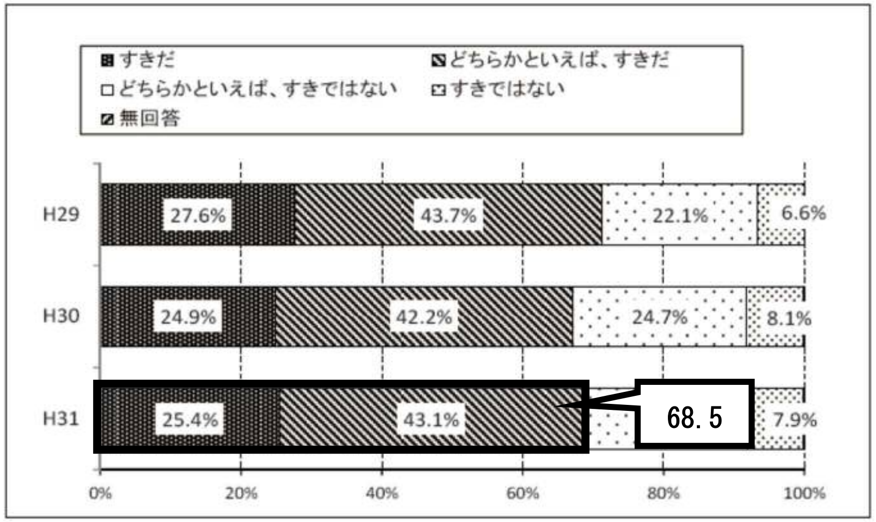
◎ 生活や学習についてのアンケート

１．学習全般に対する好感度・必要性・勉強する理由について

報告書Ｐ．５７　参照

好感度

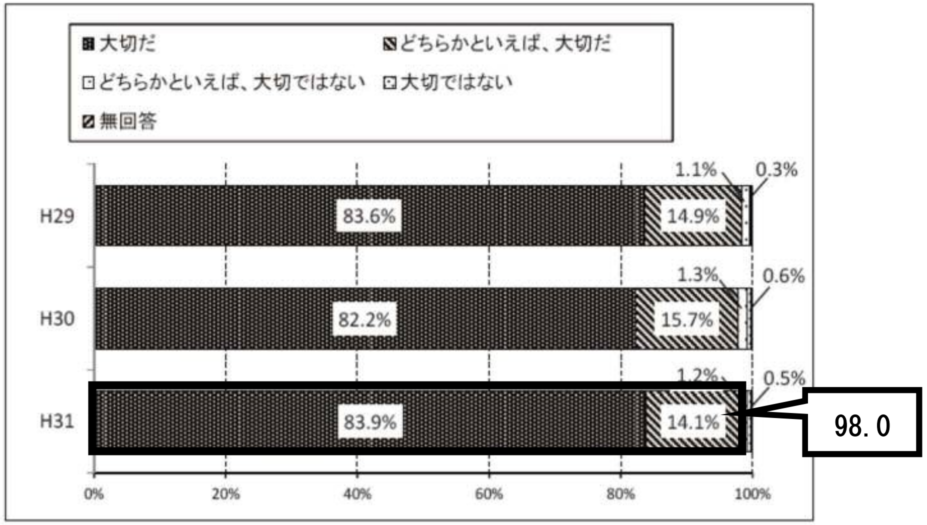
問２　勉強は、すきですか。



25.4%の児童が、「すきだ」と回答しており、「どちらかといえばすきだ」を合わせると 68.5%である。29 年度と比較すると、2.8 ポイント減、30 年度と比較すると 1.4 ポイントの増である。

必要性

問３　勉強することは、大切なことだと思いますか。

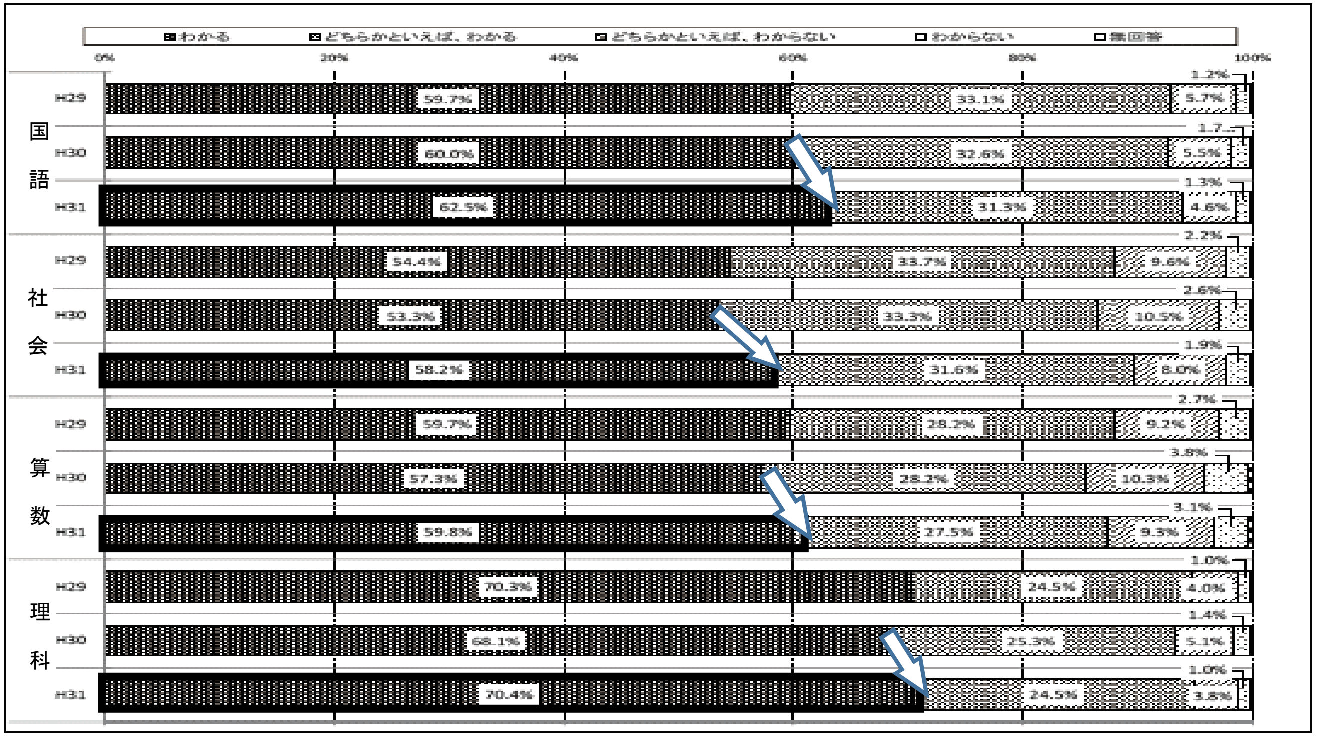


83.9%の児童が、「大切だ」と回答しており、「どちらかといえば大切だ」を合わせると 98.0%である。29 年度からほぼ同値である。

報告書Ｐ．６０　参照

理解度

問１０～１３　　次の授業は、よくわかりますか。

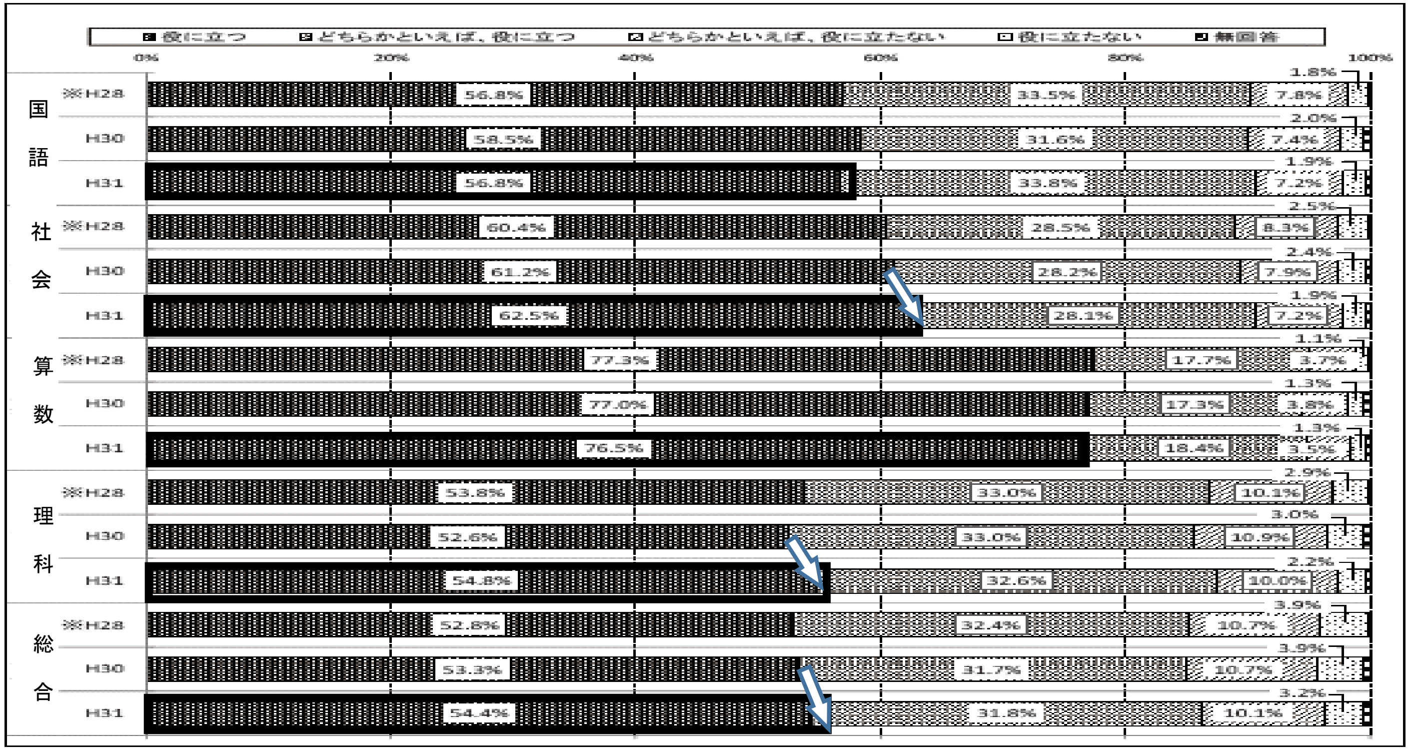


「わかる」と回答した児童は、「国語」62.5%、「社会」58.2%、「算数」59.8%、「理科」70.4%である。30 年度と比較して、「国語」は 2.5 ポイント、「社会」は 4.9 ポイント、「算数」は 2.5 ポイント、「理科」は 2.3 ポイントそれぞれ増加した。

報告書Ｐ．６１　参照

有用感

問１４～１８　　授業で学んだことは、生活の中で役に立っていると思いますか。

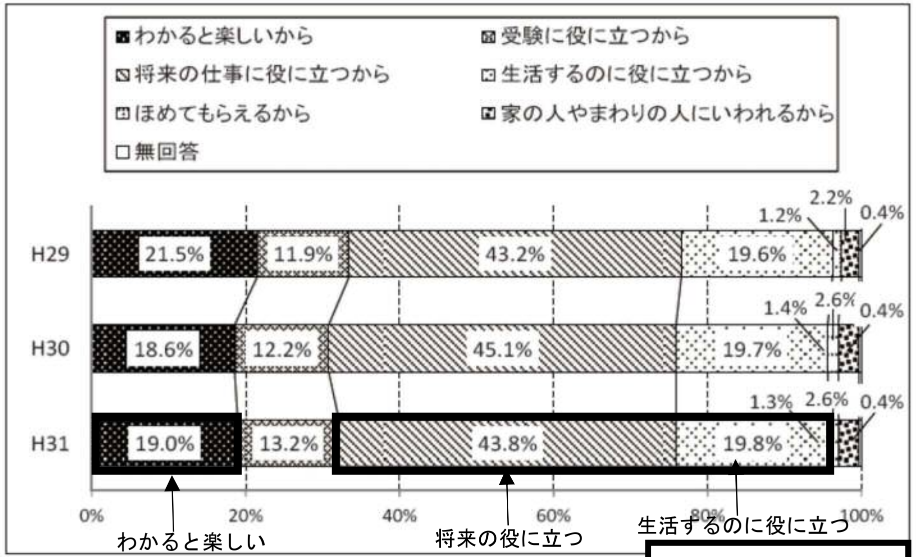


「役に立つ」と回答した児童は、「国語」56.8%、「社会」62.5%、「算数」76.5%、「理科」54.8%、「総合的な学習の時間」54.4%である。30年度と比較して、「社会」は1.3ポイント、「理科」は2.2ポイント、「総合的な学習の時間」は1.1ポイントそれぞれ増加した。

報告書Ｐ．５８　参照

理　由

問４　勉強をする一番の理由は何ですか。



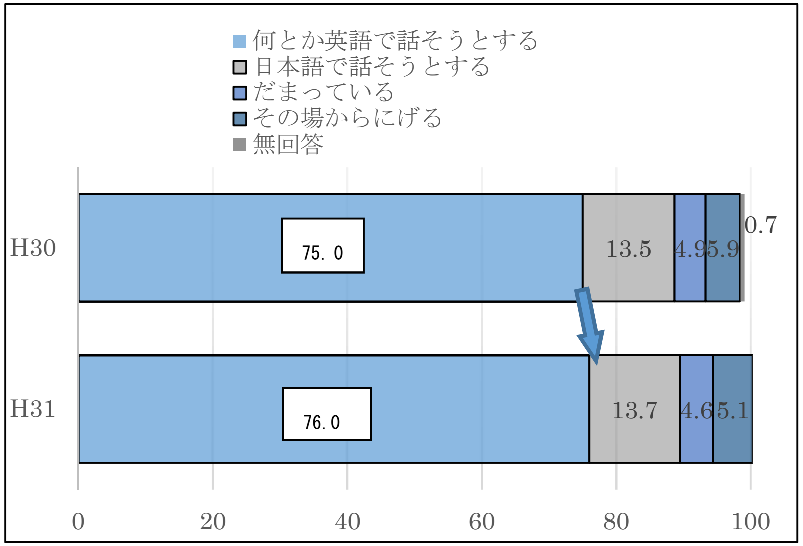
有用感　63.6%

勉強する一番の理由として、有用感を挙げている児童が多く、「将来の仕事に役に立つから」、「生活するのに役に立つから」を合わせると 63.6%で、29 年度から 6 割を超えている。「わかると楽しいから」と回答した児童は、19.0%である。29 年度と比較すると、2.5 ポイント減、30 年度と比較すると 0.4 ポイント増加した。

報告書Ｐ．９２

英語に対する意識

問 67　もし、道で出会った外国人に英語で話しかけられたら、どうしますか。

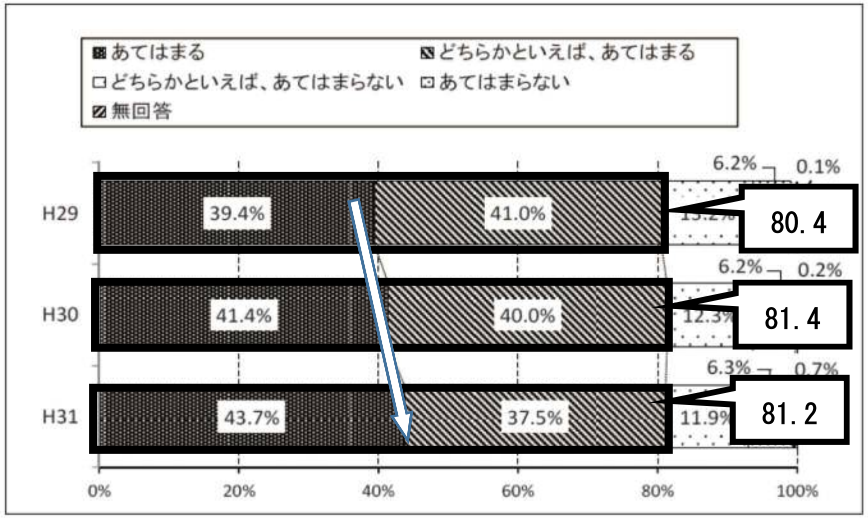


「もし、道で出会った外国人に英語で話しかけられたらどうしますか」に「何とか英語で話そうとする」と回答した児童は、76.0%で、30 年度と比較して 1 ポイント増加した。

２．自己肯定感・将来に対する意識について

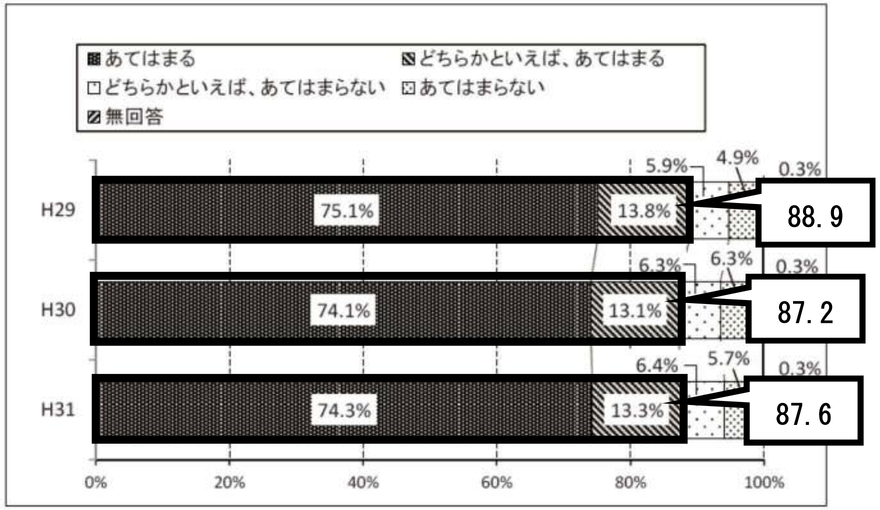
報告書Ｐ．６７　参照

問 44　自分には、よいところがあると思いますか。



「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した児童は 81.2%であり、29 年度から 8 割を超えている。「あてはまる」と回答した児童は、29 年度と比較して 4.3 ポイント増加、30 年度と比較して 2.3 ポイント増加と増加傾向にある。

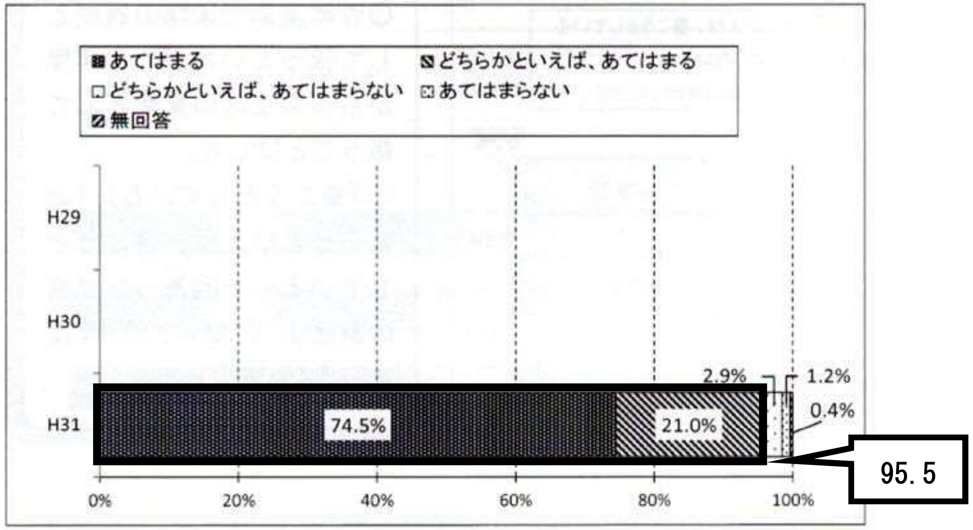
問 45　将来の夢や目標を持っていますか。



「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した児童は、87.6%であり、29 年度から 8 割を超えている。「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」それぞれの割合は、３年間ほぼ同値である。

報告書Ｐ．６７　参照

問 46　人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

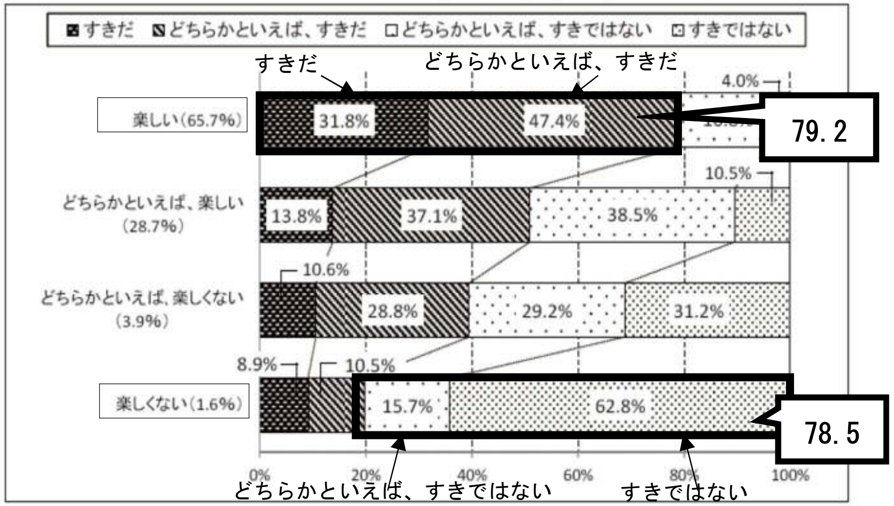


31 年度より新たに加えられた質問である。「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した児童は 95.5%である。

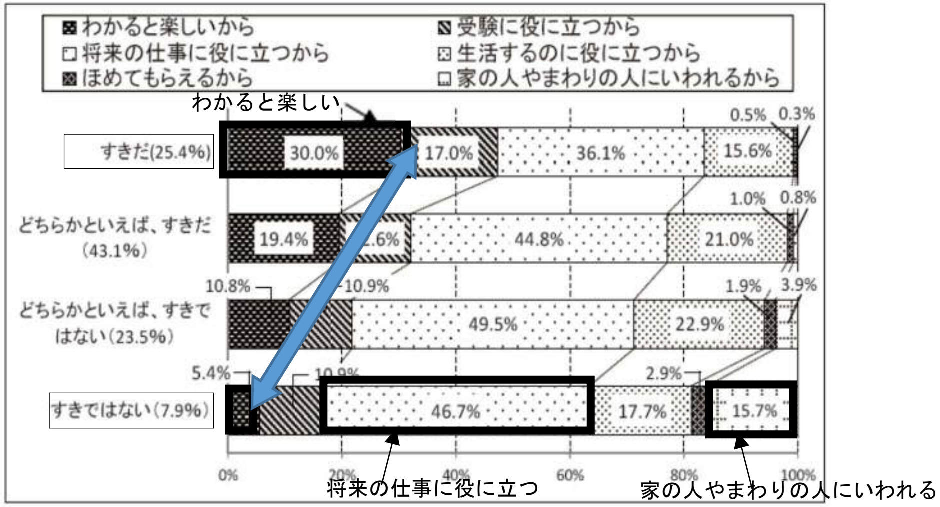
３．クロス集計結果について

報告書Ｐ．７４　参照

１　学校の楽しさ【問１】×学習に対する好感度【問２】



３　学習に対する好感度【問２】×勉強する理由【問４】

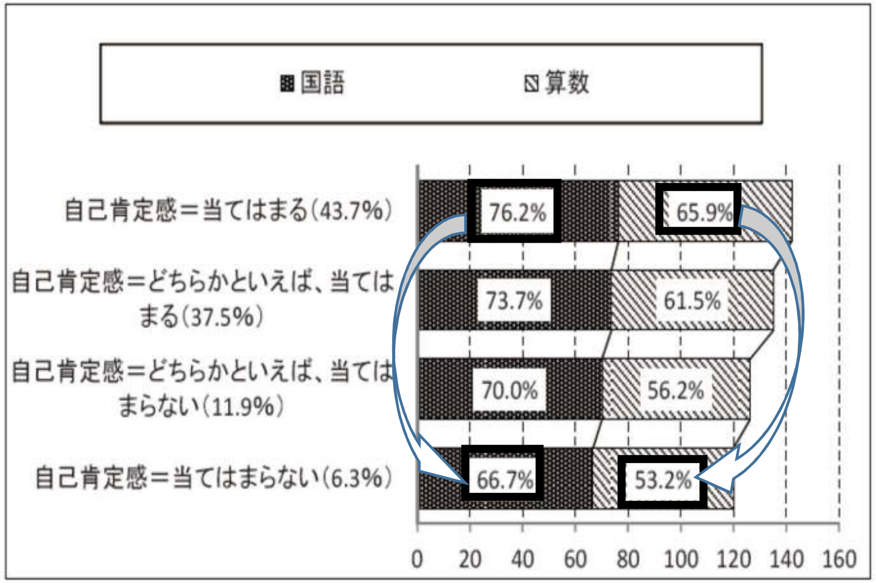


「学校生活が楽しい」と回答した児童のうち 79.2%は勉強が「すきだ」「どちらかといえば、すきだ」と回答している。学校生活が「楽しくない」と回答した児童の 78.5%、「どちらかといえば楽しくない」と回答した児童の 60.4%は勉強は「すきではない」「どちらかといえばすきではない」と回答している。

好感度の高い児童ほど「わかると楽しいから」と回答する割合が高い。「すきだ」と回答した児童と「すきではない」と回答した児童とでは 24.6 ポイントの差がある。「すきではない」と回答した児童の 15.7%は「家の人やまわりの人にいわれるから」を選んでおり、他に比べて割合が多い。

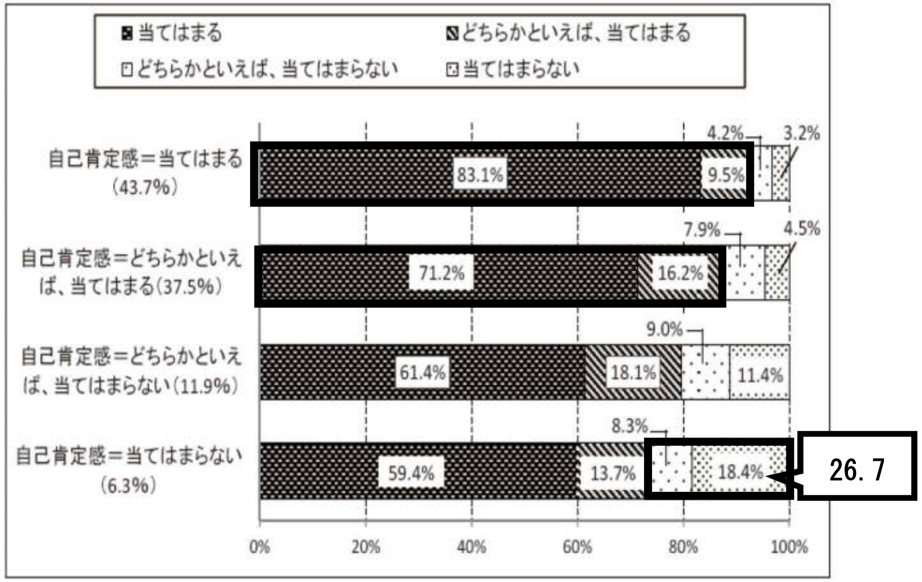
報告書Ｐ．８１　参照

22　自己肯定感【問 44】×国語・算数の正答率



「自分にはよいところがある（あてはまる)」と回答している児童ほど国語・算数の正答率が高い。「当てはまらない」と回答した児童の国語と算数の正答率は、それぞれ 66.7%、53.2%で、「当てはまる」と回答した児童とはそれぞれ約 10 ポイントの開きがある。

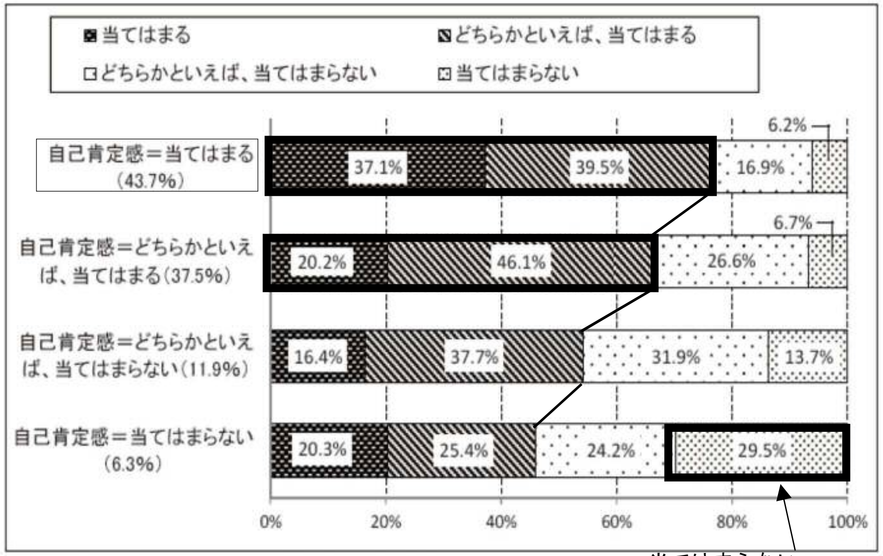
23　自己肯定感【問 44】×将来の夢や目標【問 45】



自己肯定感が比較的高い児童ほど、将来の夢や目標を持っていると回答している割合が高い。「自分には、よいところがあると思わない（当てはまらない)」と回答した児童のうち、26.7%の児童は夢や目標を「持っていない」「どちらかといえば持っていない」と回答している。

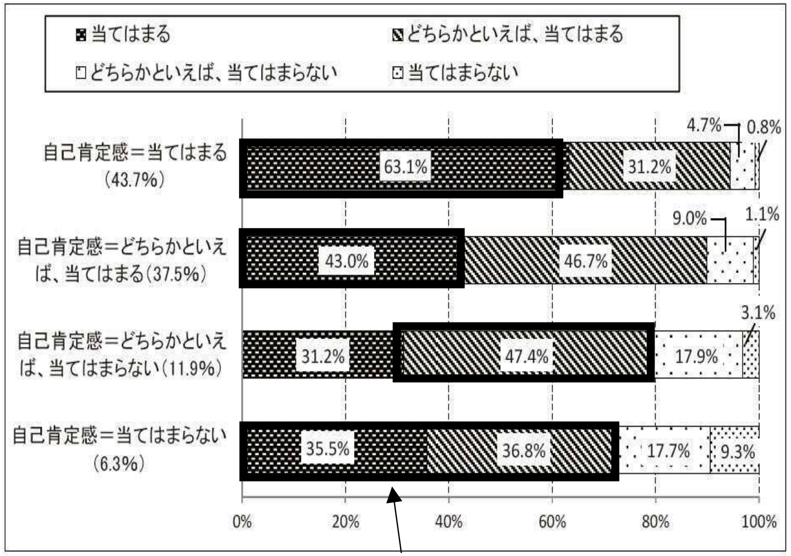
報告書Ｐ．８２　参照

27　自己肯定感【問 44】×地域への貢献【問 50】



当てはまらない

27　自己肯定感【問 44】×周囲への援助【問 51】



助けようとする、どちらかといえば助けようとする

自己肯定感が比較的高い児童ほど、地域や社会に対して貢献しようと回答している割合が高い。「自分には、よいところがあると思わない（当てはまらない）」と回答した児童のうち、「地域や社会をよりよくするために何をすべきか考える」に「当てはまらない」と回答した割合は、29.5%である。

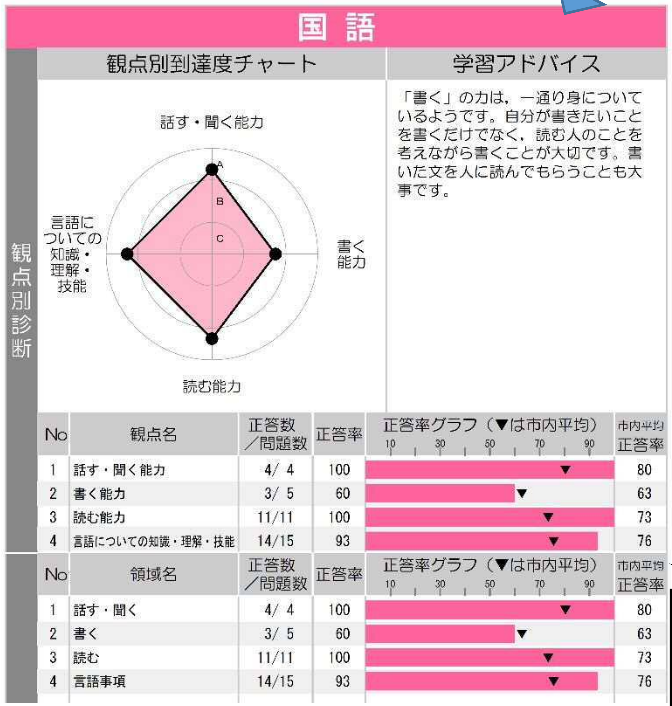
自己肯定感が高い児童ほど、人が困っているときに助けようとしている割合が高い。「どちらかといえば、当てはまらない」と回答した児童のうちの 47.4%は、「人が困っているときはどちらかといえば助けようとする」と回答している。

◎ 調査結果の活用

川崎市学習状況調査　わかりやすい個票を保護者・児童に提供

児童・保護者に学習状況を伝え、一人一人の課題を明確にし、学習に取り組む態度や家庭学習の改善に役立てます。

■教科別分析



No	観点名	正答数／問題数	正答率	正答率グラフ（▼は市内平均）	市内平均正答率
1	話す・聞く能力	4/ 4	100		80
2	書く能力	3/ 5	60		63
3	読む能力	11/11	100		73
4	言語についての知識・理解・技能	14/15	93		76

No	領域名	正答数／問題数	正答率	正答率グラフ（▼は市内平均）	市内平均正答率
1	話す・聞く	4/ 4	100		80
2	書く	3/ 5	60		63
3	読む	11/11	100		73
4	言語事項	14/15	93		76

国語の授業は、よくわかりますか。	
わかる	62.4
どちらかといえば，わかる	31.4
どちらかといえば，わからない	4.7
わからない	1.3
無回答	0.3

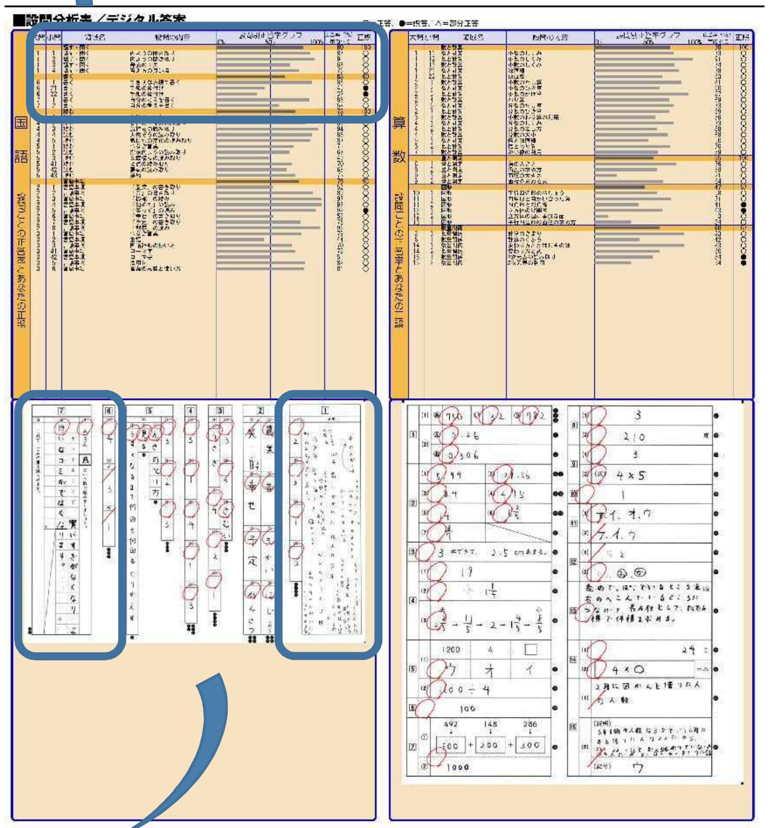
算数の授業は、よくわかりますか。	
わかる	59.7
どちらかといえば，わかる	27.5
どちらかといえば，わからない	9.3
わからない	3.1
無回答	0.4

【様々な情報提供】
小問別、領域別、観点別に川崎市平均正答率と結果を示しています。

【意識調査】
アンケート調査については、国語、算数について授業の理解度などについて選択肢別の回答率を示しています。

数値は川崎市の全体の割合（%）
本人の選択は網掛け部分

大問	小問	領域名	設問の内容	設問別正答率グラフ 0% 50% 100%	正答率（%） 市内平均	正誤
		話す・聞く			80	100
1	1	話す・聞く	内ようの聞き取り		87	○
1	2	話す・聞く	内ようの聞き取り		91	○
1	3	話す・聞く	発表の工夫		68	○
1	4	話す・聞く	答え方の良い点		76	○
		書く			63	60
6	1	書く	てき切な表現で書く		88	○
6	21	書く	手紙の後付け		45	●
6	22	書く	手紙の後付け		37	●
7	1	書く	自分の考えを書く		86	○
7	2	書く	自分の考えを書く		58	○



【わかりやすい提示】
分析と解答用紙が上下で示されており、小問ごとに学習状況を確認することができます。